



未来 4月号
2026.4
vol.66 No.699

一般社団法人飯田青年会議所 広報誌

MIRAI

編集責任者

事務局長

吉澤成史

一般社団法人飯田青年会議所
長野県飯田市常盤町41番地
TEL. (0265) 23-7875
FAX. (0265) 23-7872
E-mail: info@iidajc.com
URL <https://iidajc.org>

2026年度 スローガン : 夢中

京都會議



2月例会



3月例会



会員拡大事業

OB総会

京都会議



専務理事

長谷部 春生



2026年度の京都会議は、1月22日(木)～25日(日)の日程で、国立京都国際会館で開催されました。本年度は「TRUE MIND TRUE HOPE」というテーマが掲げられ、加藤会頭が目指す「真の心が生み出す 幸せな国 日本へ」という基本理念の実現に向けた一年間の活動がスタートしました。

飯田JICからは佐々木理事をはじめとする5名のメンバーが参加いたしました。日常の活動の中では、なかなか伝えることができない想いを語り合い、親睦を深めることができました。また、全国から多くのJICメンバーが集まっており、リニア中央新幹線開通後に隣駅となる甲府JICのメンバーと会うことができ、お互いの活動やそれぞれの夢を語り合うことができました。



さらに、茨城県の常総JICのメンバーとの出会いもあり、日本全国にこれだけの仲間がいることを改めて実感する機会となりました。こうした多くの仲間と出会えるのもJIC活動の魅力のひとつだと感じました。こうした可能性を飯田JICの活動に活かせるように取り組んでまいります。



さらに、茨城県の常総JICのメンバーとの出会いもあり、日本全国にこれだけの仲間がいることを改めて実感する機会となりました。こうした多くの仲間と出会えるのもJIC活動の魅力のひとつだと感じました。こうした可能性を飯田JICの活動に活かせるように取り組んでまいります。

2月例会

結いまち委員会
副委員長

今井 健太



2月2日(月)、結いまち委員会として初めての開催となる2月例会を実施しました。今回の例会は「新たな交通網による南信州地域の変化を学び、未来を描こう!」をテーマに掲げ、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備が進む中で、南信州地域が今後どのように変化していくのかを学び、参加者一人ひとりが地域の未来について考える機会として開催しました。例会の冒頭では、結いまち委員会が本年度を通じて目指していく方向性や活動目的についてプレゼンテーションを行いました。

地域の可能性を広げるためには、行政・企業・地域住民など多くの立場の方々がつながり、それぞれの視点から地域の未来を考えていくことが重要であることが共有し、委員会として「人」と「地域と地域」を結ぶ存在となることを参加者の皆様へ発信しました。その後は、各分野でご活躍されている講師の皆様による講話やパネルディスカッションを実施しました。現在進められているリニア関連工事の進捗状況や、三遠南信自動車道の整備によって期待される経済効果、観光・物流・人の流れの変化などについて、専門的な視点から非常にわかりやすくお話しいただきました。また、交通網の発展によって飯田下伊那地域が「通過点」ではなく「目的地」として選ばれる地域になるためには何が必要なのか、地域全体でどのような連携を図っていくべきかなど、未来を見据えた意見交換も活発に行われました。当日は、多くの一般参加者の皆様にもご参加いただき、講師の方々との質疑応答や参加者同士の意見交換も非常に盛り上がりしました。それぞれが地域に対する想いや課題意識を共有することで、新たな気づきやつながりが生まれる貴重な機会となりました。今回の例会を通じて、南信州地域の未来には大きな可能性があることを改めて実感するとともに、その未来をより良いものにしていくためには、私たち一人ひとりの行動と挑戦が必要であることを学ぶ、大変有意義な例会となりました。



地域の可能性を広げるためには、行政・企業・地域住民など多くの立場の方々がつながり、それぞれの視点から地域の未来を考えていくことが重要であることが共有し、委員会として「人」と「地域と地域」を結ぶ存在となることを参加者の皆様へ発信しました。その後は、各分野でご活躍されている講師の皆様による講話やパネルディスカッションを実施しました。現在進められているリニア関連工事の進捗状況や、三遠南信自動車道の整備によって期待される経済効果、観光・物流・人の流れの変化などについて、専門的な視点から非常にわかりやすくお話しいただきました。また、交通網の発展によって飯田下伊那地域が「通過点」ではなく「目的地」として選ばれる地域になるためには何が必要なのか、地域全体でどのような連携を図っていくべきかなど、未来を見据えた意見交換も活発に行われました。当日は、多くの一般参加者の皆様にもご参加いただき、講師の方々との質疑応答や参加者同士の意見交換も非常に盛り上がりしました。それぞれが地域に対する想いや課題意識を共有することで、新たな気づきやつながりが生まれる貴重な機会となりました。今回の例会を通じて、南信州地域の未来には大きな可能性があることを改めて実感するとともに、その未来をより良いものにしていくためには、私たち一人ひとりの行動と挑戦が必要であることを学ぶ、大変有意義な例会となりました。





事務局長

吉澤成史



去る2月20
日(金)、今宮
半平さまにて
OB総会が開

催されました。

本総会には多くのOBの先輩方
にご参加いただき、現役メンバ
ーとの交流を深める貴重な機会とな
りました。

総会では、これまでの活動報告
や今後の方針について共有がなさ
れ、現役メンバーとしての想いや
決意をお伝えする場となりました。
また、長年にわたり地域や青年会
議所を支えてこられた先輩方から
は、これまでの経験に基づき貴重
なご意見や温かい激励の言葉を頂
戴し、今後の活動に対する大きな
学びと気づきを得ることができま
した。

懇親の場においても、世代を超
えた交流が生まれ、飯田青年会議
所の歴史と伝統の重みを改めて実
感するとともに、その想いを未来
へ繋いでいく責任を強く感じる機
会となりました。

本総会で得た学びとご縁を大切
にし、今後の活動に活かしていま
います。引き続き、皆様のご指導
ご鞭撻を賜りますようお願い申し
上げます。

共育の森委員会
副委員長

宮内直哉



2026年3月3日
(火)、飯田商工会館1
F商店街交流ホールに

て、共育の森委員会3月例会「共育の森
の土壌づくり」を開催し、多くの皆さまに
ご参加いただきました。

本例会は、本年度共育の森委員会が掲げ
る「共育の森」へつながる第一歩として、
子どもたちが夢中になれる環境づくりや、
それを支える大人の関わり方について考え
ることを目的に実施しました。

当日は、現役学校長による講話を通して、
現代の子どもたちを取り巻く環境の変化や、
子どもが主体的に挑戦できる環境の重要性
について学びました。特に、子どもの成長
には結果だけではなく、夢中になって挑戦
する過程その



ものが大切で
あり、その時
間を周囲の大
人がどのよう
に受け止め、
支えていくか
が重要である
という言葉が
印象的でした。

また、ワー
クでは参加者
自身がこれま



で夢中になって取り組んだ経験を振り返り、
夢中になれる環境には何が必要なのかを考
える機会となり、参加者同士で意見交換を
行う中で、立場や年齢を超えて多くの共感
が生まれ、子どもだけではなく大人自身も
共に成長していく「共育」の考え方につい
て理解を深めることができました。

本例会を通じ、子どもたちの可能性を広
げるためには、地域や家庭、学校だけでは
なく、多くの大人が関わりながら挑戦を応
援していく環境づくりが必要であると改め
て感じた。一方で、運営面では改善すべき
点も見受けられたため、参加者からいただ
いた意見も踏まえ、今後の例会や事業へ活
かしていきたいと思っています。

今回の例会が、参加者一人ひとりととっ
て「共育の森」を考えるきっかけとなり、
今後の活動につながる有意義な時間になっ
たと感じています。

4月会員拡大事業

結いまち委員会

副委員長

今井 健太



近年の活動の中でも
新たな試みとして、4
月11日(土)に、新た

な出会いと交流を通じて地域とのつながりを広げ、多様な価値観に触れることを目的とした異業種交流会を開催しました。

当日は、地域で活動されているさまざまな業種の方々にご参加いただき、普段なかなか関わる機会の少ない参加者同士が交流を深める貴重な場となりました。

今回の交流会では、飯田青年会議所の活動紹介の時間も設け、普段どのような活動を行っているのか、どのような想いを持って地域活動に取り組んでいるのかを参加者の皆様へお伝えしました。その中でも特に印象的だったのが、新しく入会したメンバーが中心となって発表を行ったことです。入会して間もない立場だからこそ感じた率直な想いや、「実際に入会してみても良かったか」「どのような学びや出会いがあったか」といったリアルな経験談を、自分自身の言



葉で伝えてくれました。発表では、最初は不安を感じながらも活動を通じて多くの仲間と出会えたことや、普段の仕事だけでは得られない経験ができていたことなどが語られ、参加者の皆様にも非常に伝わる内容となっていました。経験の長いメンバーが話す魅力とはまた違い、等身大の言葉だからこそ共感を生み、会場の雰囲気より温かいものにしていただこうと感じます。

また、今回は通常の例会や事業とは少し違い、終始ラフで和やかな雰囲気の中で交流が行われたことも大きな特徴でした。参加者同士はもちろん、メンバー同士も普段以上に気軽に会話を交わし、新たなつながりや関係性を築く機会となりました。

改めて、人と人との交流が新しい価値や可能性を生み出していくことを実感するとともに、こうした機会を今後も継続していくことの大切さを感じる、大変有意義な事業となりました。

新会員紹介

私について
紹介します！



名前 佐久間健司 (さくまけんじ)

職業 株式会社信幸商事 (不動産賃貸業)
パーソナルトレーナー

好きな言葉 夢は見るものじゃなく叶えるもの
夢を叶えるということは強い意志を貫くこと

特技・趣味・
マイブーム アニメ、サウナ、美容

JC活動に
かける抱負 みんなと何かをやり遂げることを学び、
コミュニケーション力、巻き込む力などを
養っていきたい。